



専門家からのアドバイス

【セカンドオピニオンを取ろう】

今の主治医とは別の医師の意見を聞くことを、セカンドオピニオンといいます。がんの治療は日進月歩で進んでいます。医師によってすすめる治療が違う場合もあり、別の医師の話聞くことで、よりよい治療法が見つかる場合もあります。

多くの場合は主治医と同じ判断となりますが、それでも今の選択が正しいことが分かると、納得して治療を受ける気持ちになります。こうした意味でセカンドオピニオンを取ることが患者さんの利益となります。

主治医は、がんの診断（病名や病気の拡がりなど）がついた段階で、患者さんに正確な「病名」、詳しい「性質」・「病期」、そして今後の治療方針の説明を行います。その時にセカンドオピニオンについての簡単な説明とともに、ぜひセカンドオピニオンを取るように患者さんにすすめることが一般的となっています。

しかし、がんの専門医の外来はとても忙しいので、つい忘れることもあります。ですから、患者さんから主治医に対して、「セカンドオピニオンはどうでしょうか？」と質問をしてください。その際に、主治医の先生からセカンドオピニオンにおすすめの病院と専門医を複数紹介してもらいましょう。

主治医は自分自身とは立場の違う医師を推薦することによって、より患者さんに客観的な情報を取っていただけるように配慮をするものです。みなさん、安心して主治医にいろいろと相談してください。そして、最初の治療を受ける前に、ぜひセカンドオピニオンを取りましょう。



コチラもCheck!

➡ P66 「セカンドオピニオンを活用する」

第2部

よりよい療養生活をおくるために

